【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【公開番号】特開2011-55732(P2011-55732A)
【公開日】平成23年3月24日(2011.3.24)
【年通号数】公開・登録公報2011-012
【出願番号】特願2009-206556(P2009-206556)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｐ　19/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｐ　19/00

【手続補正書】
【提出日】平成24年1月27日(2012.1.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
樹皮原料を、一軸破砕機又は二軸破砕機で破砕して繊維化する破砕繊維化処理工程、該破砕繊維化処理工程からの破砕繊維化処理樹皮をアルカリ化合物及び水と混和するアルカリ処理工程、該アルカリ処理工程からのアルカリ処理樹皮をレファイナーで磨砕する磨砕処理工程、及び該磨砕処理工程で得られた原料を酵素で糖化処理する酵素糖化工程を有することを特徴とする、樹皮原料から糖類を製造する方法。
【請求項２】
前記破砕繊維化処理樹皮が、繊維長３ｍｍ以上の繊維が２０％以上含まれる木質繊維であることを特徴とする、請求項１に記載の樹皮原料から糖類を製造する方法。
【請求項３】
前記アルカリ処理工程における処理温度が１～３００℃で、処理時間が１分～７２時間であることを特徴とする、請求項１又は２に記載の樹皮原料から糖類を製造する方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
本発明は、前記課題を解決するため鋭意研究した結果、木部と比べてリグニン含量が低く、可溶性成分を多量に含む樹皮に注目し、破砕後の樹皮の大きさを過度に小さくしない、以下の各技術手段を選択し採用することによって、安価な設備を用いて、少ない投入エネルギーを用いた比較的穏和な条件下で原料樹皮の糖化を促進せしめることができることを可能ならしめた「樹皮原料から糖類を製造する方法」に関する下記の発明から選択される発明である。